

【開室時間】火～金曜日 10:00～20:30
土・日曜日 10:00～17:00
【休室日】毎週月曜日
※貸出冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

シャルロットの憂鬱

近藤史恵 著

シャルロットは警察犬をリタイヤした雌のジャーマンシェパードで、二年前から主人公夫妻の家族になった。賢くて聞き分けがよいが少し甘えん坊のシャルロットとの生活は、これまで縁のなかった人々との出会いにつながる。



飼い犬同士、飼い主同士のゆるやかな関係は時折トラブルなどありつつも、穏やかな日々をもたらしてくれる。

動物と暮らすことは大変さと喜びがあることを教えてくれる一冊である。

新しく購入した図書(主なもの)

- 一般書 ●
 - ・沈黙法廷 佐々木譲
 - ・土の記 高村薫
 - ・i 西加奈子
 - ・大雪物語 藤田宜永
 - ・静かな雨 宮下奈都
 - ・夜行 森見登美彦
 - ・いまさら翼といわれても 米澤穂信
- 児童書 ●
 - ・えとえとがっせん 石黒亜矢子
 - ・されどオオカミ きむらゆういち
 - ・びょういんのおばけずかん なんでもドクター 芥藤洋
 - ・かいけつゾロリの王子さまになるほうほう 原ゆたか
 - ・なつみはなんにでもなれる ヨシタケシンスケ

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「ランニング・キャット」を作ります
日時 2月18日(土) 10:00～
持ち物 はさみ・カラーペン
対象 5歳～(未就学児は保護者同伴)
場所 町民センター2階 小会議室A
申込み 直接図書室へ 又は、☎82-5221

◇おはなし会(第2土曜日、第3水曜日)

日時 2月11日(土・祝) 13:00～
2月15日(水) 15:00～
場所 町民センター3階 図書室
申込み 申込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう!

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にしています。

*文芸

開成俳句会 俳句

白鳥に出合なき世を重ねたり
元朝の東の空を拝しけり
真みどりの茶笥の先や白障子
語らひつ網繕ふや春隣
白鳥の長き滑走水面切る
山茶花の光にまみれこぼれおり
豆撒や私の出番の赤い鬼
みらのくや汽笛吸い込む峡の雪
すれ違ふ少年まぶし春近し
人肌を温もり残る寒卵
冬耕の鋤に生れる石の音

一月吟

マネキンの淡き装ひ春近し
冬も終る頃には寒さも緩み草木も日の光の中に春の気配を感じて来ます。この気分を「春近し」とか「春隣り」と言い晩冬の季語です。さて今月の作品はその気分の一句で、町で行き交う人も冬服ですが、商店街のマネキン人形は春色の装いに早春を感じたのでしょうか。中七が作句眼の手柄と見えます。

新井たか志 選評

波多野すみ枝 波多野すみ枝
濱本 主雄 濱本 主雄
足立ふみえ 有賀 孝子
奥津ちわき 下澤 操子
瀬戸 悦子 遠藤まつ子
遠藤まつ子 遠藤美津子
遠藤美津子 遠藤美津子
選者吟

ともしび短歌会 短歌

我が家に四人目の曾孫誕生す
四人目の曾孫さんのご誕生、おめでとうございます。早速、祝福の意を込め、色紙に憶良の短歌を揮毫し、送ったとのこと。作者のお慶びようが十分に伝わってくる歌。曾孫さん、健やかに幸多かれ！
※「曾孫」は孫の子。憶良の詠「奈良時代の官人・社会派の歌人である山上憶良「銀も金も玉もなにせむにまされる玉子」しかめやも」の歌。万葉集に多数の歌あり。

十二月詠

大寒の透き通る陽に布団干し
飛行機雲の直線長き 辻岡 洋子
冷たい空気が清々しく感じる某日、日頃やらない布団干しをした時の満足感と、ふと見上げた空に長く白い飛行機雲を発見した喜びを、率直に詠んだ歌。大寒の頃の自己体験を上手く纏めている。
※「大寒」は二十四節気の一つ。太陽の黄経が三〇〇度に達した時をい、太陽暦で一月〇日頃に当たる。年で最も寒い季節。十一月中気。

近藤 正臣 選

遠藤シヅ子

開成町のいまむかし<11>



この町に住んで100年目の方も、100日目の方も、皆さんで確かめる開成町の「いま」と「むかし」。このコーナーでは、12回にわたり、文化財保護委員とともに町のいまむかしをたどります。

☎ 教育総務課 ☎82-5221

開成町の石

開成町は足柄平野の北部、水はけがよく堅く安定した砂礫層(砂や石の混じった地層)の酒匂川の扇状地に位置しています。こうした地形は、今、私たちの生活に清らかな水などの恩恵を与えています。長い年月、度重なる洪水や周辺の激しい地殻変動の影響を受けて造られたものです。地下に広がる砂や石は足柄平野の北西の足柄・丹沢山地から大量にもたらされ、沖積層(大昔は海であったことを示す地層)の上、各所に広がっています。さらに扇状地の上には洪水等で運ばれた砂や石が、「自然堤防」と呼ばれる島状の小高い土地を造ります。次第にここに人が住むようになり、町内に島や台と名のつく集落が多いのはこうした立地が由来していると考えられています。



酒匂川右岸より松田山南端を望む

の山体崩落には富士山直下の活断層を震源とする地震が起因していたという可能性を示唆しました。こうした周辺の大規模な地殻変動が開成町にも多くの影響を与えてきたことは間違いないでしょう。町内に今も残る石碑や石塔の多くは安山岩という火山由来の火成岩の一種である石材を使用しています。土地に残る石にはその土地の歴史が刻まれました。それは有史以前の遙かな昔をも明らかにする重要な可能性を秘めています。文化財保護委員会 島村 礼子 参考文献 高橋直樹ほか(2015) 『石ころ博士入門』全国農村教育協会

生き生き レポート



「3学年委員会ハートフルツリー」友達のいいところを見つけて、ハートのカードにメッセージを書こう!

NYGプロジェクト
(N)日本一
(Y)優しい
(G)学校

☎ 文命中学校 ☎83-1386

いいね大作戦！生徒会活動を通して仲間の良いところを見つけ伝え合おう！
文命中学校長 根津 憲一
文命中学校では、「日本一優しい学校」(NYG)をテーマに生徒会本部や各委員会が中心となり、様々な取り組みをしています。今年度は「他人(ひと)の良さ」わかるあなたの人の良さを合言葉に「いいねと言ったよ」「いいねと言われたよ」プロジェクトを各学年委員会が中心となって取り組んでいます。今回は、「友達のいいところを見つけてよー！自分ががんばっていることを伝えよう」をスローガンに掲げ取り組みました。
これは一週間の中で「誰に、どんなことを言った、言われた」を振り返り、思っていることをきちんと言葉で相手に伝えることの難しさを再確認しながら、自己肯定感を高める活動です。こうした取り組みが生徒から各家庭へ。そして、家庭から地域へ広がっていくとうれしく思います。